

総合調査設計株式会社
sogo tyosa sekkei inc. presents

大阪探検隊

Osaka City Expeditionary party

vol.006

[大川周辺]

okawa river



総合調査設計では、大阪を中心としたまちの魅力を発見、発掘することを目的として「大阪探検隊」なる活動を行っています。

今回は、大川を中心とした大阪の景観や歴史について見て回りました。淀屋橋を10時30分にスタートし、ゴールの天六に16時ごろ到着しました。

●大川周辺・川と歴史建造物巡りルートマップ



府立図書館・中央公会堂



中之島図書館は、住友家から建築費などを寄付され、土地を大阪市が提供したそうです。

建物は、重要文化財に指定されており、平成16年（2004年）には百周年を迎えます。

桜が満開のこの日は、ドームの銅屋根と桜が競演して最高のたたずまいを感じさせてくれました。

中央公会堂は、平成11年3月～平成14年9月に保存、再生工事が行われました。

その中で、戦時中の金属供出で撤去された屋根の神像二体、商業の神「メルキュール」と科学、工芸、平和の象徴「ミネルバ」の神像が復元されたそうです。

よくみると下からも、二体の神をうかがうことができます。（写真左下参照）



難波橋



難波橋は江戸時代に、天神橋、天満橋とともに浪花三大橋とよばれたそうです。

現在も「ライオン橋」の愛称で親しまれていますが、写真のような現代ビルを背景とした橋の姿が美しく感じられます。

天神橋周辺



天神橋には、日頃意識していなかったものがたくさんありました。一つは北詰の碑で、もう一つは写真右の旧日本海軍通報艦「最上」の前マスト！

知らなかったです。圧巻！でも煙突にも見えます...



天満青物市場跡



天満橋の下流右岸側に、天満青物市場跡の碑があります。ここは、元禄期に大坂の三大市場と称されたそうですが、昭和6年に中央卸売市場に吸収され、今はその碑が残るのみとなっています。

ひっそりと佇むため見逃しがちです。こうした碑が歴史を継承していくのでしょうか。

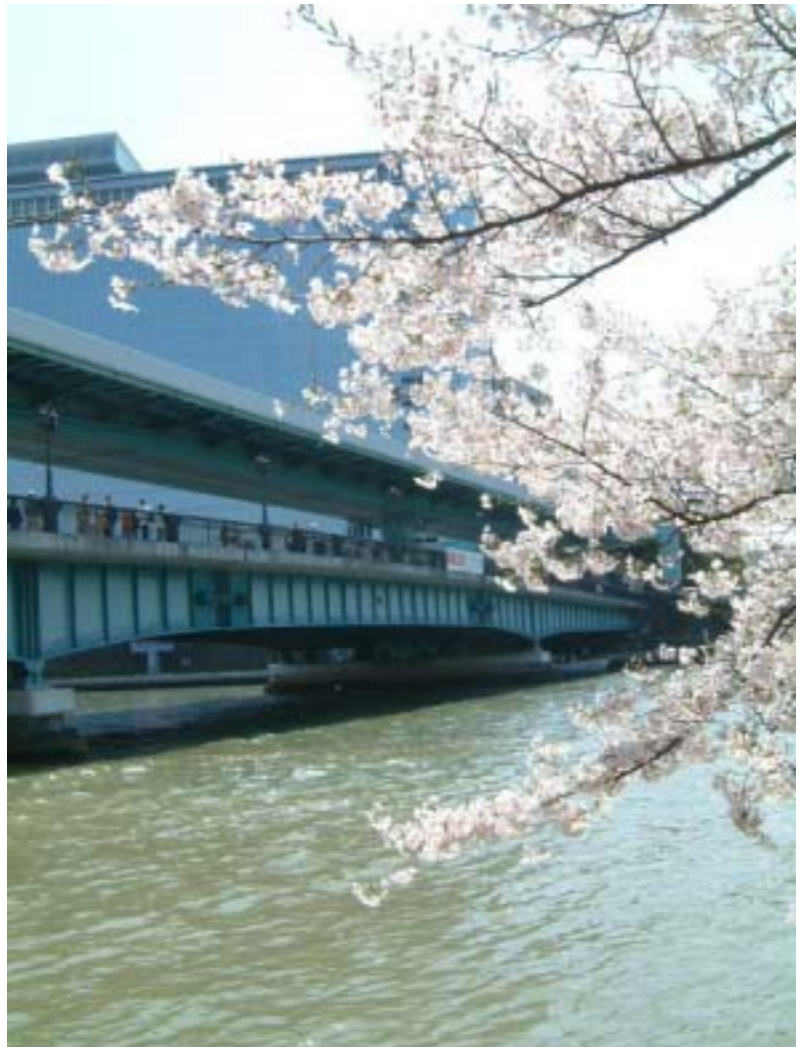
天満橋北詰



天満橋付近には、将棊島（しょうぎじま）という細長い堤防のような陸地がありました。

その様子が天満橋北詰にある説明サインに描かれています。

話は変わりますが「大坂」の由来はこのあたりの大きな坂だったそうです。



天満橋からの眺め



春の大川は、まるで大阪案内のパンフレットに載っているような風景が見られます。

遠方のビル、天神橋のアーチ、大川とアクアライナー、そして南天満公園の桜が共演して一つの風景を創り上げています。

江戸時代、大阪の橋は公儀橋と町橋があったそうです。

官費で管理された公儀橋は、天満橋の他に、天神橋、難波橋、京橋、鳴野橋、野田橋、備前島橋、高麗橋、本町橋、農人橋、長堀橋、日本橋の12橋だったそうです。

その他の町橋は、民費で管理されたそうです。

官民協働が問われる現代、その場所に必要なものは立場に関係なく面倒を見る。歴史に見習うところがあります。



熊野街道跡

天満橋と天神橋の間の南側は、平安時代中頃から賑わった熊野詣の上陸地点であったそうです。

京都から船で下り、天満橋に上陸、陸路を目的の熊野を目指して歩き始めたそうです。

上陸地点である八軒家船着き場は、江戸時代8軒の船宿があったためと言われています。



川崎橋



水の都と大阪の代表的な景観地に架けられる斜張橋の川崎橋。川崎橋の主桁は、とてもスレンダーな風景を創り上げています。

桜宮橋



戦前では日本最大のアーチ橋であった桜宮橋。筆者は大阪生まれですが、やはり「銀橋」のほうが馴染みよいです。OAP と共演した風景は、これも大阪を代表するものではないでしょうか。

レガッタ



源八橋付近では、第9回桜杯が行われていました。

大阪市水道発祥之地

大阪市最初の上水道がここから送水されました。

この水はポンプで大阪城配水池にあげられ、自然硫化で給水したそうです。

それまで淀川の水や井戸水を飲料水としていたのも、現代では考えられないことです。



都島神社



都島神社は、後白河法皇の要請で、淀川の洪水防止を願い建立したそうです。

境内の石造三重宝篋印塔(ほうきょういんとう)は、塔身に仏像や梵字を刻んでいて、とても珍しいものだそうです。(写真左)

母恩寺



後白河法皇が、淀川に近く風光明媚のこの地の景色を好まれ、創建されたと伝えられています。

平安の時代、法皇が見られた風景がどのようなものだったのでしょうか。

頭は猿、体は狸、尾は蛇、脚は虎に、それぞれ似ていたという「ぬえ」。

源頼政に射殺された怪物(ぬえ)は淀川に流され、この母恩寺付近の「ぬえ塚」に漂着したそうです。

飛翔橋周辺

二つのアーチで構成される飛翔橋。名前は、特徴的な形が飛んでいきそうなことからつけられたそうです。



鶴満寺



鶴満寺は奈良時代に創建されたそうです。この見所は、高麗時代初期の朝鮮銅鐘で、重要文化財の指定を受けています。

鶴満寺には、大阪府有形文化財の鎌倉時代末の作という千手観音画像があります。



国分寺

境内には昭和 45 年（1970）に起きた地下鉄谷町線のガス爆発事故の犠牲者を悼む供養堂があります。

写真の紅い建築物が供養堂です。



天神橋筋商店街



日本一長い商店街を上から眺めてみました。

上から見ると、なんか鉄道みたいです。

全長 2.6km の商店街は、見るより食べ歩いたほうが楽しいものです。

(大阪市立住まい情報センターからの撮影)

あとがき

5時間ほどの探検でしたが、これだけで大阪のすてきな風景や、歴史が学びとれたと思います。

ご指導いただきました先生には、大変感謝をする想いです。ありがとうございました。

